



基本施策 5 森林・田園・まち並み景観の保全

■めざすまちの姿

水や緑あふれる豊かな自然、居住地周辺や道路、公園、まち並みなどの日常生活における美しい景観や歴史・伝統文化的景観が保全・育成されながら、次の世代にも大切に継承されていくまちをめざします。

■現状

- ◇針葉樹林と広葉樹林の混交林整備により、水土保全機能を発揮する森林づくりを進めています。
- ◇環境市民団体との連携により、総合学習授業の一環として市内全小学校において、環境教育授業を実施しています。
- ◇里山整備や耕作放棄地への植樹など市民主体の活動への支援や、中心市街地活性化の取組支援による町家再生、紅葉名所の整備などを実施しています。

■課題

- ◇耕作放棄地が増えてきており、農地の有効活用や保全される仕組みづくりが必要です。
- ◇自然豊かな穴栗市において、景勝地やその周辺の景観をさらに魅力化することで、景観を生かした知名度の向上や来訪者の増加を図る必要があります。

■個別施策の方向性と主な取組（★は総合戦略事業に関連する取組）

① 森林環境・水辺空間の保全（★）

《施策の方向性》

森林や水辺空間の持つ多面的な公益的機能が発揮され、景観にも配慮された森林や水辺の整備、保全を推進します。

《主な取組》

- ①-1 針葉樹林と広葉樹林の混交林整備の促進や地域の自主的な森林整備活動を支援し、水土保全機能を発揮し、景観に配慮された森林づくりを推進します。
- ①-2 水辺の親水や景観に配慮した河川やため池の整備、保全に取り組みます。

<p>② 田園・まち並み景観の保全（★）</p> <p>《施策の方向性》 農業の振興施策や商工業の振興施策とあわせ、市民や地域、関係団体等との連携により、田園・まち並み景観とその沿道景観の保全を推進します。</p> <p>《主な取組》</p> <p>②-1 耕作放棄地の再生や利活用に対する支援を実施するほか、市民や地域、認定農業者や関係団体等と連携し、耕作放棄地の解消や新たな耕作放棄地の発生防止に取り組み、田園景観の保全を図ります。</p> <p>②-2 市民や地域、関係団体等と連携し、古民家の再生や保存、商店街の賑わい創出などに取り組み、まち並み景観の保全を図ります。</p> <p>②-3 幹線道路などでの景観に配慮した整備や維持管理に取り組むとともに、秩序ある沿道景観を保全するため、屋外広告物の適正な規制・指導等による景観を阻害する広告物への是正指導に取り組めます。</p>
<p>③ 景観の魅力化（★）</p> <p>《施策の方向性》 景観や景観に影響する環境の保全に向けて市民や地域、関係団体等と意識を共有するとともに、景勝地やその周辺などにおける景観のさらなる魅力化を図ります。</p> <p>《主な取組》</p> <p>③-1 生涯学習や小学校での環境教育、イベント等を通じて自然環境の大切さや、景観に影響する環境の保全などについて学ぶ機会を創出し、市民や地域、関係団体等と意識の共有を図ります。</p> <p>③-2 景観が美しい自然環境を市民や地域、関係団体等と連携しながら保全していくとともに、紅葉名所など穴栗市の知名度の向上と来訪者の増加をめざし、さらなる魅力化に向けた整備や取組を推進します。</p>

■まちづくり指標

指標名	単位	現状値 (R1)	目標値 (R8)
(再掲) 耕作放棄田率	%/年	10.4	現状値以下
広葉樹転換面積	ha/年	0.0	12.0
揖保川水質状況 (BOD値)	mg/l	1.0 未満	現状値を維持
千種川水質状況 (BOD値)	mg/l	1.0 未満	現状値を維持

■関連する個別計画

- ・ 穴栗市環境基本計画
- ・ 穴栗市森林整備計画
- ・ 穴栗市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想